

ひたむきに
一歩ずつ、
広島県の
未来の為に!

畑石けんじ

広島県議会議員(東区)



広島から人の流出を止めるため 県の魅力化づくりを政策提言しています

広島県の人口転出超過は 約7500人(日本人・2024年)

「転出超過」は「人が入ってくるより出ていく方が多い」自治体の人口移動指標です。転出超過で広島県は4年連続で全国最多(ワースト)となりました。全国47の都道府県の中で、最も人が出て行っている県なのです。ニュースなどで知って驚かれた方も多いのではないのでしょうか。



12月議会 転出超過対策について政策提言!!



中四国地方から就職や進学で広島を目指す流れが弱くなり、近隣の大都市圏にシフトしています。この現状を食い止めるには、**広島県の魅力向上**が不可欠です。先の広島県議会12月定例会において「魅力ある県づくり」に向けての以下の政策提言と質疑を行っています。

問題の本質は「転出」よりむしろ「転入」

若者の県外流出問題として取り上げた報道もあったように、確かに転出も課題です。しかし統計数字からは、別の側面が見えてきます。過去10年、「転出数」に大きな変化はありません。変わったのは「転入数」なのです。「人が出ていくことより、入ってこない」ことこそ問題の本質なのです。



広島県の魅力が低下している...??

■広島県産業の未来

- ・自動車、半導体など次世代主要産業の集積
- ・県内企業育成と自治体発注の重要性



■魅力ある都市圏形成

- ・まちづくりのビジョンと、県と市が保有する施設の再配置
- ・ウォークアブルな街並み形成



■人材の育成

- ・エッセンシャルワークの重要性
- ・高校教育のあり方



令和6年
12月12日
定例会

動画はこちらから

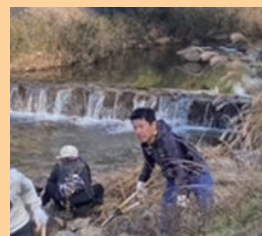
活動報告



乳がん患者の会 きららの皆さんとドラッグロスドラッグラグについて、岸田総理に要望活動(令和6年7月)



府中大川 地元要望調査



地域活動／ぬくしな桜の会での府中大川草刈り作業



子ども議会の参加者と意見交換

中山踏切周辺工事と交通 ※令和7年3月時点での計画

2025年度の工事概要～エレベーター設置、バスルート変更、一方通行化など～

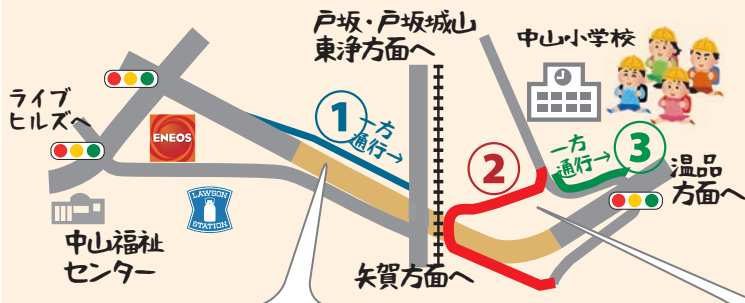
高速5号線工事と並行して進む中山踏切周辺の工事は、アンダーパスが昨年開通。現在はエレベーター設置など周辺工事が続き、おおむね2025年内に完了する予定です。

①西側側道部分とアンダーパスに通じる階段は今年の夏・8月末に完成の予定。**エレベーターの設置工事(年内完了予定)も進めています。**完成後の側道は東

向きの一方通行となります。**また、通学路の確保のため、一方通行道路を安全に横断できるように広島市、県警に厳しく対策を求めています。**

②東側側道部分 は今年の夏・8月末に完成の予定。既存の道路と繋がって、ミニ環状的に周回通行できる道路が新たに完成します。

③中山小学校プール南部分 は今年の初夏あたりに工事を開始し、冬・12月末に完成の予定。工事の間中は現在の2車線が1車線となり、鏡が丘→温品方向への一方通行となります。**(あくまでも工事期間中のみの一方通行です。)**工事期間温品→鏡が丘方面は②東側側道を通行していただく予定です)



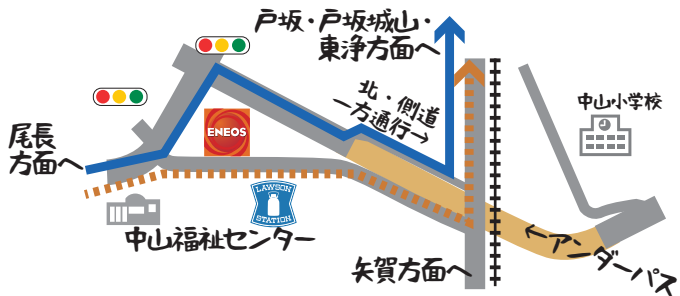
側道開放後はこう変わる!

①西側側道部分

中山西・中山南・中山東(一部)地区

●バスルートが変更 バス停も移動

27番系統、広島駅方面→戸坂方面へのバスルートが現在の**オレンジの破線**から**青の実線**へ変更となります(戸坂→広島駅方面は現状まま)。それにともない、中山踏切バス停が中山南側から中山西側に移ります。



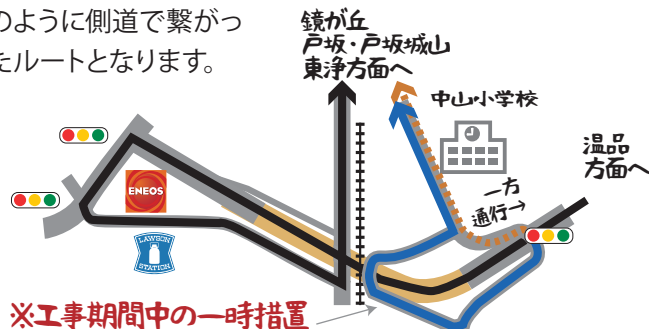
工事期間中には一方通行の一時措置

②東側側道部分 ③中山小学校プール南部分

温品(中山東)→鏡が丘・戸坂3学区

●一方通行で温品→鏡が丘ルートが変更

温品(中山東)方面→戸坂3学区へ車で向かうルートは、**黒の実線**が推奨されています。しかし鏡が丘に向かう**オレンジの破線**ルートを通る車も多いのが現状です。ここが一時的に一方通行で通れなくなり、**青の実線**のように側道で繋がったルートとなります。



二葉の里につくられる新・県病院について

“新”県病院 2030年度開院予定 ～二葉の里地区～

病床数は広島市民病院のほぼ1.3倍の約1000床。救命救急、小児・周産期医療、がん・脳卒中・心臓病など高度医療と医師人材育成を担う県内最大、全国屈指の病院計画です。

取り壊す予定だった現JR広島病院の建物は、活用する方針に転換されました。建築費の大幅増が見込まれる中、建設する病棟や敷地面積を抑制して建設費を抑えます。

また、現 広島県病院も人手不足、物価上昇等により厳しい経営状況となっており、**中長期の経営見通しについて議会より再度精査をするように指摘**をしています。

4月より新県病院設置に向けて地方行政独立法人が設置されます。これに伴い、現在のJR病院の名称は、新県病院設置までの間、県立二葉の里病院と名称が変わります。

